

ぞう・きりん ぐみだより 2月号



14. 2. 1
記 菅田

- * * . . . *
- 天気予報に雪マークがついた日。「ゆき、ふってろ！」と空を見上げる子どもたちの瞳はきらきらと輝いています。
- 先月、園庭に雪が積った日は、声をまかれてしながら雪あそびを楽しめました。雪玉を沢山作って雪合戦をしたり、雪だるまと作ったり、子どもたちの熱気で園庭の雪がとけていく（王）
夢中になつてあそんでいました。
- 冬にしか味わえないあそびを準備しながら元気に過ごしていきたいです。



自分の名前がきりん組も書けるようになつたから、ますます文字に興味が出てきました。絵本も自分がちでストラスト読めるようになり、きりん組はよく声に出して絵本を読んでいます。あひる組やりす組に絵本を読んであげることもあり、お兄さんお姉さんが読み絵本を準備している子も多いです。ぐり組は午睡の時間、テーマに合うものを練習帳に書いてたりしているのでかく保育園にあります→「かしき」「かへど」と、たゞ今時の時期に沿ってはの字を書いてい(?)とおもっています。「こおり」と「こうり」に「と」、「お」と「う」の間違いや「一」と「二」とか「入」、「出」などと間違っていることがあります。今日はまたと云えています、ひらがな、カタカナを楽しめたみたいと思います。

書き初め 今年も書き始めをしました。自分の名前を名字から書いてみましたが、（ほとんど）の子が迷いつぶ、ストラスト自分の名前を書いていました。それで自分の名前には自信があるのだと見つけました。成長を感じました。

兎のお面づくり

今年のおにこのお面は張り子で作りました。風船に水をぬらして白い紙を貼っていくと、その上に新聞紙とおひがれをのりで貼っていく。乾いたら、中の風船を割ります。 ← 空洞の球体が出来るのでそれを半分にして、目と口の部分に穴を開けたらお面の完成です！

貼る作業がなく、次ぎでいくが、風船を割って球体が出来た時は大喜びでした。

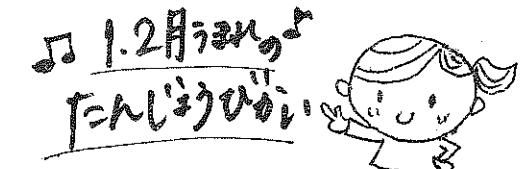
かっこいい兎のお面は3日に持て帰ります。

発表会について

今年の発表会は本園きりん組と合同で「うらはねにうさぎの劇」をやりました。後決めでは自分がやりたいものに手をあげ、タタかで後にはじめん込んで決めました。やりたいが後には手をあげたが、やりたいができないかも、自分の役を好きになって楽しめます。みんなで作品を作っていくことを思いました。

今月から本格的に練習がはじまりました。
早めの登園、着脱の二指ローブ等よろしくお願ひ致します。

またでステキに見出せます！
つくれいきついと見つけました。



ほんたう組と合唱で、きりん組だけダンスを踊りました。どちらか（ひにしほ）と思ったの可か両方やりたい！との事で2つも披露しました。

合唱は「ゆき落葉まくらげ」と「もしも」を歌い、ダンスは「鹿の鳴き声」を踊りました。

ダンスには途中BOXステップのアソトを入れました。足がかりまで、はじめは苦戦していましたが、各々お家の洋服やカツ下など様々な場所で練習していく(笑)。本番は上手に出来ました。

